

指定管理業務評価表

施設名	篠岡児童館		
対象年度	25年度	評価担当部	こども未来部
指定管理者名	特定非営利活動法人10人村		
指定期間	H23年4月1日～H27年3月31日		
職員体制	常勤職員 2名 臨時職員 13名(兼務3名含む) 合計 15名		

1. 利用実績

(1) 利用者数

月	4	5	6	7	8	9	
人数	3,750	4,299	3,721	3,891	3,854	2,952	
月	10	11	12	1	2	3	合計
人数	3,011	2,983	3,249	3,112	3,255	3,725	41,802

(2) 増減要因

24年度より25年度は利用者が3,261人減少している。減少の理由は、8月2日から9月18日まで床工事により遊戯室が使用できなかったためと考えられます。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	H25.10.21～H25.11.20 (共通) H25.9 (独自) H26.3 (独自)	回答数	49人 (大人) 68人 (小中学生等) 75人 60人
利用者の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なお母さんたちと子育てについての情報を交換できるところ。 ・子どもと一緒に遊べる、遊んでもらえる場所。 ・館庭があるのでいい。中でも外でも遊べるのでいい。 ・家ではできないこと(工作、運動、友達と遊ぶ等)ができて助かります。 ・建物の構造上仕方がないと思うが、支援室が階段を上がって2階まで行くのが大変で、抱っこして階段を上がるのが少し危険。トイレも1階なので不便。 		
具体的な対応状況	階段に手摺りを設置するなど安全性を高める配慮はしていますが、今後も意見を踏まえながら、対応できるところは対応し継続する。		

3. 収支の実績

(単位：円)

		24年度 (前年決算額)	25年度 (現年決算額)	26年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収入	指定管理料	24,400,000	23,400,000	23,400,000	年間委託料
	雑入	652	0		預金利子
	精算による返還金	△ 4,727	△ 7,225		修繕費・雑入の返還
	合計	24,395,925	23,392,775	23,400,000	
支出	人件費	14,962,645	15,319,682	16,293,402	職員給与
	報償費	243,200	230,000	280,000	講師謝礼
	旅費	57,040	41,440	30,000	交通費・研修参加費
	需用費	2,400,788	2,409,946	2,582,000	児童館活動費等
	役務費	648,212	655,951	652,050	保険料等
	委託費	934,461	942,411	1,004,900	清掃委託・警備委託等
	その他	2,780,645	2,536,796	2,557,648	間接費・使用料等
	合計	22,026,991	22,136,226	23,400,000	
差し引き収支		2,368,934	1,256,549	0	

※ 平成24年度、25年度は修繕費のみ精算

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<p>仕様書、事業計画書に基づき概ね適正に実施されている。</p> <p>また、日常の来館者への対応や行事・イベントが適切に実施され、地域や関係団体との連携した事業展開も見られた。</p> <p>行事・イベントについては、利用者の増加が見られたが、児童の健全育成や子育て支援の観点から必要と思われるものは、前年度の結果にとらわれず、実施内容等を精査したうえで継続的に実施していくことを期待する。</p>
維持管理業務	<p>駐車場、敷地内及び館内の日常清掃・定期清掃が実施されており、施設、設備の保守管理（点検や修繕等）についても適切に行われている。遊戯室の床をフローリングに張り替えをし、館庭に歩行用通路を設置するなど利用者サービスの向上に努めた。</p> <p>また、専門業者による遊具点検を毎月実施しており、乳幼児が利用する玩具や部屋などは、口に触れてもよい安全な薬品で定期的に消毒がされており、適正な維持管理として評価できる。</p>
サービスの質	<p>職場内外研修等をとおして職員全体のスキルアップを図り、利用者の満足度の向上に努めているが、今後は、研修の年間計画を作成するなど、研修体制の充実を図ることに努めていただきたい。</p> <p>利用者からの意見・苦情に対しては、概ね適切な対応がとられているため、より快適な施設運営に一層の努力を行っていくことを期待したい。</p> <p>子育て支援室について、量的な面に加え、質的な面での関わりを重視するサービスに力点を置き、利用者のリピーター化・定着化を図るように努めていただきたい。</p>
収支状況 及び 経費節減	<p>資金管理については、効率的に経費が使用されており、概ね計画通りの収支状況となっており、コスト削減にも努めている。</p>
その他 (緊急時の対応等)	<p>消防・防災訓練を適正に実施している。</p> <p>危機管理マニュアルが整備、保管されており、ヒヤリハットは情報を全職員で共有し、適切な処置を行っていることは、適正な緊急時の対応等として評価できる。</p>